

SOUL OF KOMAZAWA

FORZA 駒澤 号外

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班
Eメール forzakomazawa@hotmail.com
TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之

1回戦全試合結果

阪南大学 1 (6PK5) 1 福井工業大学、筑波大学 2-3 中京大学、関西学院大学 2-0 愛知学院大学、関西大学 1-2 東京学芸大学、道都大学 1-4 順天堂大学、福山大学 2-1 福岡大学、高知大学 1-5 国士館大学 ※白字が勝者



(下)試合中も降り続いた雨でピッチ状態は予想以上にひどく、両チームとも思うようなプレーが出来ず

(上)2得点をあげた巻。1点目のゴールは「気持ちで押し込んだ」(左)フル出場で2得点に絡んだ高橋。「出来はそんなに良くないけど得点に絡んだからOK、次も監督に怒られないよう頑張ります」と笑顔でコメント(木ノ内隆撮影)

雨中の逆転劇! タイトルへあと3勝!

平成13年度 第50回全日本大学サッカー選手権大会 1回戦

11月10日 12:00 江戸川区陸上競技場

駒大 3(2-1)1 仙台大

【仙】 4分:矢部卓也(アシスト=赤井秀一)
【駒】 44分:巻誠一郎(高橋健次)
【駒】 50分:高橋健次
【駒】 82分:巻誠一郎(森田真実)

KOMAZAWA	SENDAI
GK① 桜井繁(4)	GK① 伊藤隆広(4)
DF② 木村誠(4)	DF② 萩生田真也(3)
DF③ 小林久晃(4)	DF③ 長尾陽一(3)
DF④ 那須大亮(2)	DF④ 野渡竜也(2)
DF⑤ 三上卓哉(4)	MF① 奈良原剛(4)
MF⑥ 津村典明(4)	MF② 田中康之(3)
MF⑦ 金位漫(4)	MF③ 鈴木靖之(2)
(56分)⑧ 中田洋介(2)	MF④ 赤井秀一(2)
MF⑨ 高橋健次(4)	MF⑤ 永井公智(4)
MF⑩ 森田真実(4)	(78分)⑥ 正木昌宣(2)
(85分)⑪ 中後雅喜(1)	MF⑦ 矢部卓也(3)
FW⑫ 巻誠一郎(3)	FW⑧ 渡辺洋一(4)
FW⑬ 深井正樹(3)	(76分)⑨ 加藤淳(4)
(76分)⑭ 尹成熙(2)	S U B
S U B	GK⑫ 武川司(1)
GK⑮ 新沼泉(3)	DF⑫ 橋本敦志(4)
DF⑯ 松田大輔(3)	MF⑬ 宮崎友徳(1)
DF⑰ 小林亮(1)	MF⑭ 若林宏治(4)
FW⑱ 古川健介(4)	FW⑮ 松永剛(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	草野修治

警告(C) / 退場(S)

【駒】 45分:那須大亮(C)
【国】 61分:渡辺洋一(C)、65分:奈良原剛(C)

<シュート>14:3<枠内シュート>5:2
<決定機>6:1<GK>6:27<CK>7:5
<PK>0:0<直接FK>30:16<間接FK>2:0
<OS>2:0<主審>塩川拓司<観衆>約300人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です

駒澤大学3-1仙台大



精彩を欠いた深井は76分に途中交代。駒大が勝ち上がるためには、この男の活躍が欠かせない

発行人 熊崎雅之
スタッフ 木ノ内隆 佐野晋作 岩田陽一 内田浩嗣 丹羽尊志 森田悠介 西村智子 山口諒子

～高校サッカー～
深井選手、小澤選手、相山選手の母校であり、来年度への入学が内定している沼守選手の所属する葺島高校が昨日行われた選手権山梨県予選決勝で帝京三高に0-1で敗れた。同じく駒大進学内定の宮崎選手が所属する大津高校は、熊本国府高校に勝利し出場権を獲得した。

FORZA 駒澤は毎週金曜日に大学内で配布中!

開始4分の失点にも焦らず3点奪取
この日のポイントは「前半終了間際に同点に出来たのが大きかった」と高橋が振り返ったように、巻の同点ゴールにあって思われる。
開始4分という早い時間に小林主将が「唯一脅威に感じた」というセットプレーから先制点を許すも、時間は十分に残されていたため焦ることなく試合を展開。前半終了間際に高橋の折り返しを巻が押し込み、いいリズムで後半を迎えた。試合を通して個々の能力の違いを見せつけた駒大は、50分に高橋、82分に再び巻が決めた2点のリードを奪う。いずれも巻が「低いシュートを心掛けた」というように雨のピッチを考えたフライングゴールであった。結局試合は3-1で終了。難しい初戦を、選手曰く「80点の出来でモノにした」。(熊崎)

阪南大にリベンジ!!!

総理大臣杯決勝で敗戦

夏の総理大臣杯決勝で津村いわく「正直、大臣杯の参加チームの中では一番弱いと思っていた」という阪南大にまさかの敗戦。シュート数は阪南大の約3倍放ち、試合を優位に進めた上での敗戦だった。選手も口々に「阪南大とやりたい」といっていたが、今日はあの日のリベンジには絶好の機会。自分達のサッカーが出来れば負ける相手ではない。決めるべきところを確実に決めて勝利したい。

